



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 丸文株式会社

上場取引所 東

コード番号 7537 URL <https://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯野 亨

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 渋谷 敏弘 TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	179,514	10.0	10,187	16.9	5,221	18.1	3,305	16.6
2023年3月期第3四半期	163,236	35.0	8,711	117.3	6,377	96.4	3,961	129.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,597百万円 (18.8%) 2023年3月期第3四半期 6,894百万円 (202.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	126.42	
2023年3月期第3四半期	151.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	166,104	56,480	30.2
2023年3月期	175,998	53,084	27.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 50,115百万円 2023年3月期 47,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		20.00		60.00	80.00
2024年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	6.1	12,500	13.7	5,000	36.8	3,000	42.3	114.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	28,051,200 株	2023年3月期	28,051,200 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	1,893,014 株	2023年3月期	1,916,429 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	26,148,139 株	2023年3月期3Q	26,134,771 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその事実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会経済活動が活性化し、個人消費や輸出・生産などで持ち直しの傾向がみられ、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、物価上昇や急激な為替変動、欧米を中心とした世界的な金融引き締めによる影響に加え、ウクライナ情勢の長期化や中東地域の緊迫化など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、半導体や電子部品のサプライチェーンの正常化が進む中、市場の拡大が続く生成AI関連やITサービス分野向けが好調に推移し、スマートフォンやPC向けで在庫調整の進展が見られました。一方で、産業機器向けでは、設備投資を抑制する動きがみられ需要低迷が続きました。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、民生機器や自動車向けの半導体が伸長した結果、前年同期比10.0%増の179,514百万円となりました。利益面では、売上の増加に加え、為替相場が円安に進行したことによりデバイス事業で円換算ベースでの売上総利益が押し上げられたため、営業利益は前年同期比16.9%増の10,187百万円となりました。一方、営業外損益では1,855百万円の為替差損を計上いたしました。これは、上半期中の円安進行に伴い、第2四半期連結累計期間において為替差損3,361百万円を計上した一方で、その後為替相場が円高方向へ転じたことで外貨建て借入の期末評価益が発生し、第3四半期に為替差益1,506百万円を計上したことによるものです。また米ドル金利の上昇により支払利息が前年同期に比べ1,680百万円増加した結果、経常利益は前年同期比18.1%減の5,221百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比16.6%減の3,305百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	125,611	143,253	17,642	14.0%
営業利益	7,439	9,180	1,741	23.4%

デバイス事業は、産業機器向けやPC周辺機器向け半導体が減少いたしました。民生機器向け半導体の需要が大幅に伸長するとともに自動車向け半導体が堅調に推移した結果、売上高は前年同期比14.0%増の143,253百万円となりました。営業利益は、売上の増加に加え、円安進行による円換算ベースでの売上総利益の押し上げ効果により、前年同期比23.4%増の9,180百万円となりました。

(システム事業)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	36,111	34,824	△1,286	△3.6%
営業利益	1,438	1,222	△216	△15.0%

システム事業は、産業機器分野で産業用組込コンピュータの販売増があったものの、レーザ機器分野で光源部品の需要が低調に推移し、航空宇宙機器分野でも電子機材が減少した結果、売上高は前年同期比3.6%減の34,824百万円となりました。営業利益は販管費の増加により、前年同期比15.0%減の1,222百万円となりました。

(ソリューション事業)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	1,514	1,436	△78	△5.2%
営業損失(△)	△163	△212	△49	—

ソリューション事業は、レーダ測定部品が好調に推移した一方で、ICT関連で通信インフラ向け光通信商材の売上が減少した結果、売上高は前年同期比5.2%減の1,436百万円となりました。営業利益は販管費の増加により、212百万円の営業損失(前年同期は163百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は155,179百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,963百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3,268百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が5,602百万円、未収入金が5,595百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は10,925百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,070百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が409百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は166,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,893百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は103,839百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,249百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が7,691百万円、支払手形及び買掛金が4,559百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は5,784百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は109,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,289百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は56,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,395百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が1,083百万円、非支配株主持分が1,027百万円、為替換算調整勘定が876百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は30.2%（前連結会計年度末は27.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年10月31日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,253	24,522
受取手形及び売掛金	51,426	45,823
電子記録債権	7,989	6,161
商品及び製品	54,558	53,090
仕掛品	79	233
未収入金	28,914	23,318
その他	1,940	2,040
貸倒引当金	△17	△10
流動資産合計	166,143	155,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,651	3,691
減価償却累計額	△2,464	△2,538
建物及び構築物（純額）	1,186	1,153
機械装置及び運搬具	9	9
減価償却累計額	△9	△9
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	2,253	2,319
減価償却累計額	△1,770	△1,847
工具、器具及び備品（純額）	483	472
土地	1,411	1,411
リース資産	34	34
減価償却累計額	△17	△22
リース資産（純額）	16	11
使用権資産	206	239
減価償却累計額	△105	△133
使用権資産（純額）	100	105
建設仮勘定	4	91
有形固定資産合計	3,203	3,246
無形固定資産	898	1,283
投資その他の資産		
投資有価証券	2,317	2,727
繰延税金資産	505	264
退職給付に係る資産	232	276
その他	2,807	3,343
貸倒引当金	△109	△215
投資その他の資産合計	5,753	6,396
固定資産合計	9,855	10,925
資産合計	175,998	166,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,005	23,446
短期借入金	69,423	61,732
1年内返済予定の長期借入金	25	—
リース債務	72	92
未払金	14,738	14,389
未払法人税等	1,114	777
賞与引当金	1,020	585
その他	2,688	2,816
流動負債合計	117,089	103,839
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
リース債務	122	89
退職給付に係る負債	365	375
役員退職慰労引当金	107	113
資産除去債務	113	114
その他	116	91
固定負債合計	5,824	5,784
負債合計	122,913	109,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,363
利益剰余金	34,388	35,471
自己株式	△1,631	△1,611
株主資本合計	45,325	46,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	821	1,086
繰延ヘッジ損益	△26	42
為替換算調整勘定	1,684	2,561
退職給付に係る調整累計額	△56	△12
その他の包括利益累計額合計	2,422	3,677
非支配株主持分	5,336	6,364
純資産合計	53,084	56,480
負債純資産合計	175,998	166,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	163,236	179,514
売上原価	142,942	157,343
売上総利益	20,294	22,170
販売費及び一般管理費	11,583	11,983
営業利益	8,711	10,187
営業外収益		
受取利息	12	95
受取配当金	57	68
持分法による投資利益	143	156
雑収入	78	61
営業外収益合計	291	382
営業外費用		
支払利息	1,319	2,999
売上債権売却損	284	473
為替差損	975	1,855
雑損失	46	19
営業外費用合計	2,625	5,348
経常利益	6,377	5,221
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	1
その他	0	—
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益	6,373	5,221
法人税等	1,962	1,477
四半期純利益	4,411	3,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	450	438
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,961	3,305

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,411	3,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	264
繰延ヘッジ損益	△89	69
為替換算調整勘定	2,632	1,477
退職給付に係る調整額	△67	44
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△2
その他の包括利益合計	2,483	1,853
四半期包括利益	6,894	5,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,409	4,559
非支配株主に係る四半期包括利益	1,485	1,037

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,373	5,221
減価償却費	525	397
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	98
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△445	△442
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	24
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△147	5
受取利息及び受取配当金	△70	△164
支払利息	1,319	2,999
為替差損益 (△は益)	4,523	3,761
持分法による投資損益 (△は益)	△143	△156
固定資産除売却損益 (△は益)	3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,860	8,597
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,819	1,742
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,718	△5,616
未収入金の増減額 (△は増加)	1,822	5,598
未払金の増減額 (△は減少)	3,310	△139
その他	873	△55
小計	△16,464	21,879
利息及び配当金の受取額	69	158
利息の支払額	△1,197	△3,053
法人税等の支払額	△1,073	△1,707
法人税等の還付額	12	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,653	17,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△312	△506
定期預金の払戻による収入	311	347
有形固定資産の取得による支出	△84	△368
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△137	△614
投資有価証券の取得による支出	△23	△25
資産除去債務の履行による支出	△31	—
その他	15	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261	△1,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,653	△11,619
長期借入金の返済による支出	△37	△25
配当金の支払額	△1,040	△2,216
非支配株主への配当金の支払額	△9	△9
その他	△60	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,504	△13,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,490	908
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,919	3,046
現金及び現金同等物の期首残高	24,693	20,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,773	23,705

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	ソリューショ ン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	125,611	36,111	1,514	163,236	—	163,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	56	818	1	876	△876	—
計	125,667	36,930	1,515	164,113	△876	163,236
セグメント利益又は損失 (△)	7,439	1,438	△163	8,715	△3	8,711

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	ソリューショ ン事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	143,253	34,824	1,436	179,514	—	179,514
セグメント間の内部売上高又は振替高	44	282	13	340	△340	—
計	143,298	35,107	1,450	179,855	△340	179,514
セグメント利益又は損失 (△)	9,180	1,222	△212	10,191	△4	10,187

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。